令和8年10月28日

釜石湾内観測結果（No.7）

“今月の話題”

水温は全定点の5m層及び15m層で、平年並みかやや高めでした。

塩分は全定点の5m層及び15m層で、平年より高めでした。

溶存酸素量は、St.4の海底からおよそ23m上の層まで、5mg/L台と低い値となっており、注意が必要です。

10月15日に実施した釜石湾内観測結果をお知らせします。

水温は全定点の5 m層及び 15 m層で、平年並かやや高めでした。

塩分は全定点の5 m層及び 15 m層で、平年より高めでした。

クロロフィル蛍光値は、St.2では10 m層付近で、St.3では10 m層よりも浅いところで、St.1及び4では15 m層付近でやや高めの値となる傾向となっていました。

溶存酸素量は、St.4の海底からおよそ 23 m上の層まで、水産用水基準値の6 mg/L を下回る5 mg/L 台と低い値となっており、注意が必要です。また、St.1の底層においても、6 mg/Lを下回っていました。

海域名：釜石湾
調査担当：水産技術センター、沿岸広域振興局水産部、釜石市

観測点（St.）		1（垂水）	2（湾北部）	3（石浜）	4（白浜沖）
観測年月日		令和8年10月15日			
観測時刻		10：49	9:44	10:30	10:07
水深（m）		23.7	21.5	18.7	54.0
透明度（m）		10.0	11.0	9.0	11.0
水色		7	8	7	8
水温（℃）	表層	19.1	19.1	19.4	19.4
	5m層	20.0	20.0	20.2	20.2
	10m層	19.9	19.9	19.9	19.9
	15m層	19.8	19.8	19.8	19.8
	底層	19.7	19.7	19.8	17.5
塩分	表層	32.86	32.97	32.94	32.89
	5m層	33.88	33.86	33.91	33.86
	10m層	33.99	33.95	33.99	33.97
	15m層	34.02	34.00	34.02	34.01
	底層	34.05	34.03	34.04	34.05
溶存酸素量（mg/l）	表層	7.4	7.7	7.8	7.9
	5m層	7.1	7.3	7.2	7.4
	10m層	6.8	7.2	7.2	7.5
	15m層	6.7	6.7	7.2	7.1
	底層	5.9	6.5	6.9	2.1

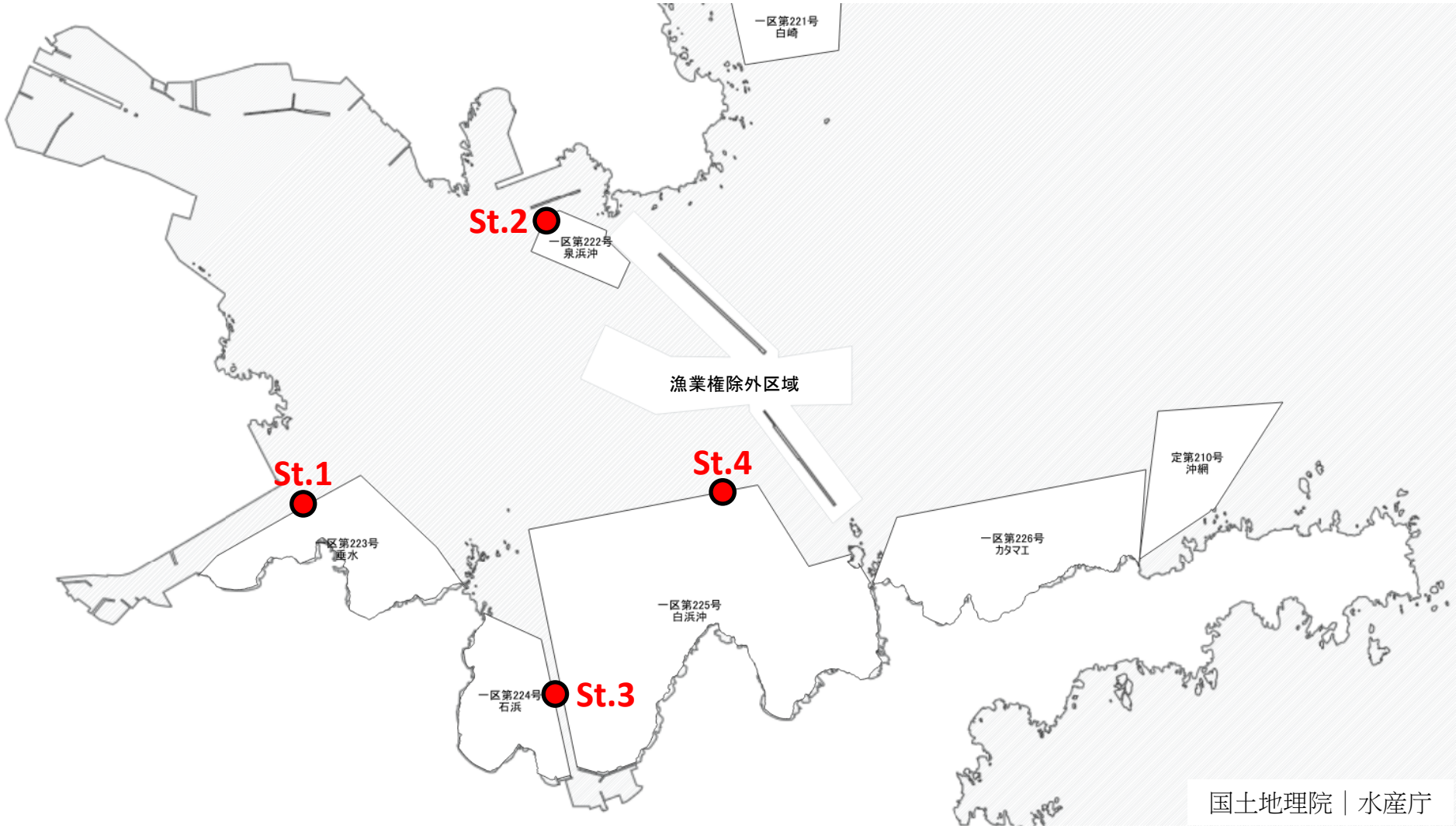


図1　釜石湾調査定点図

※St.1からSt.4において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。

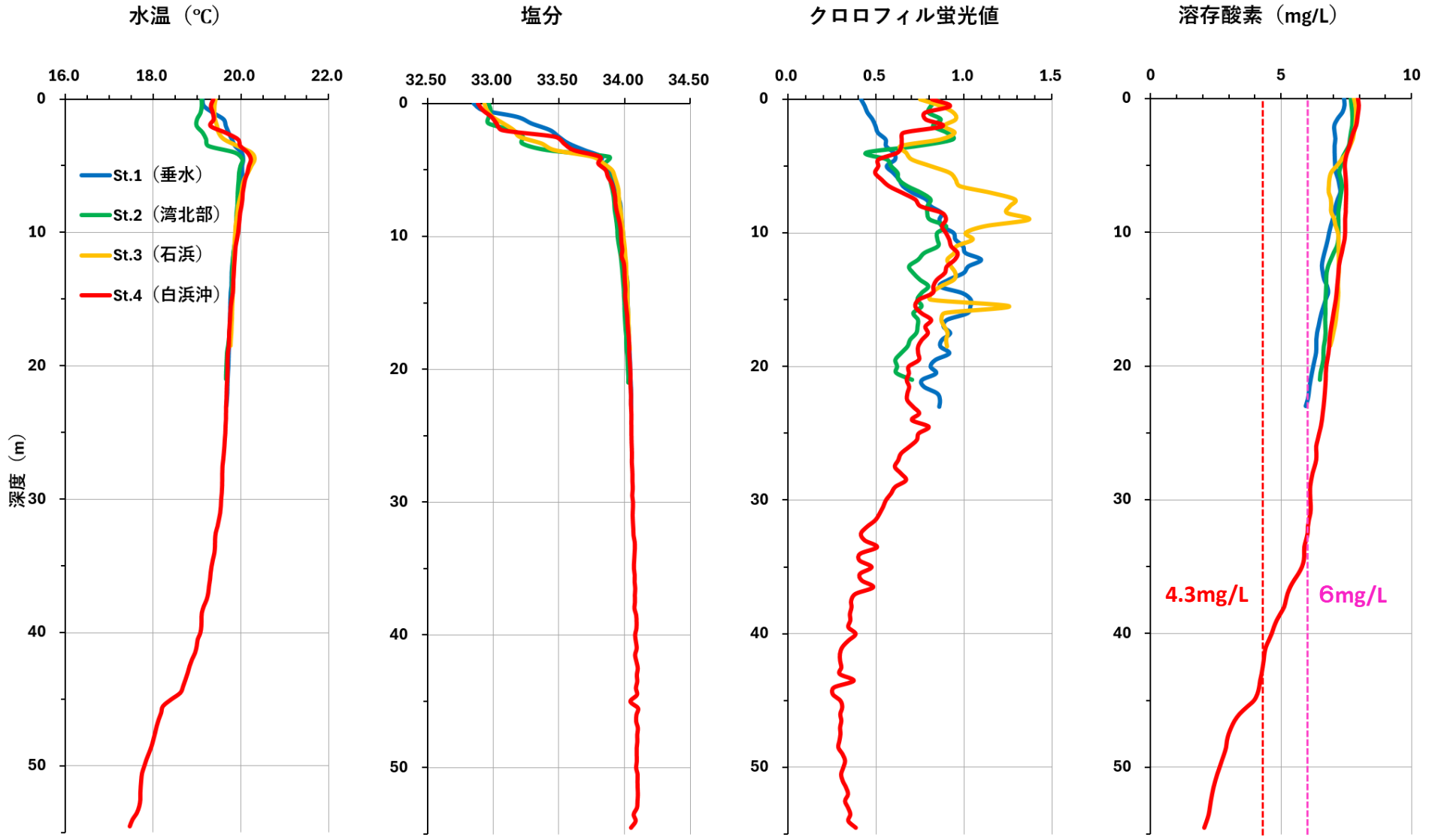
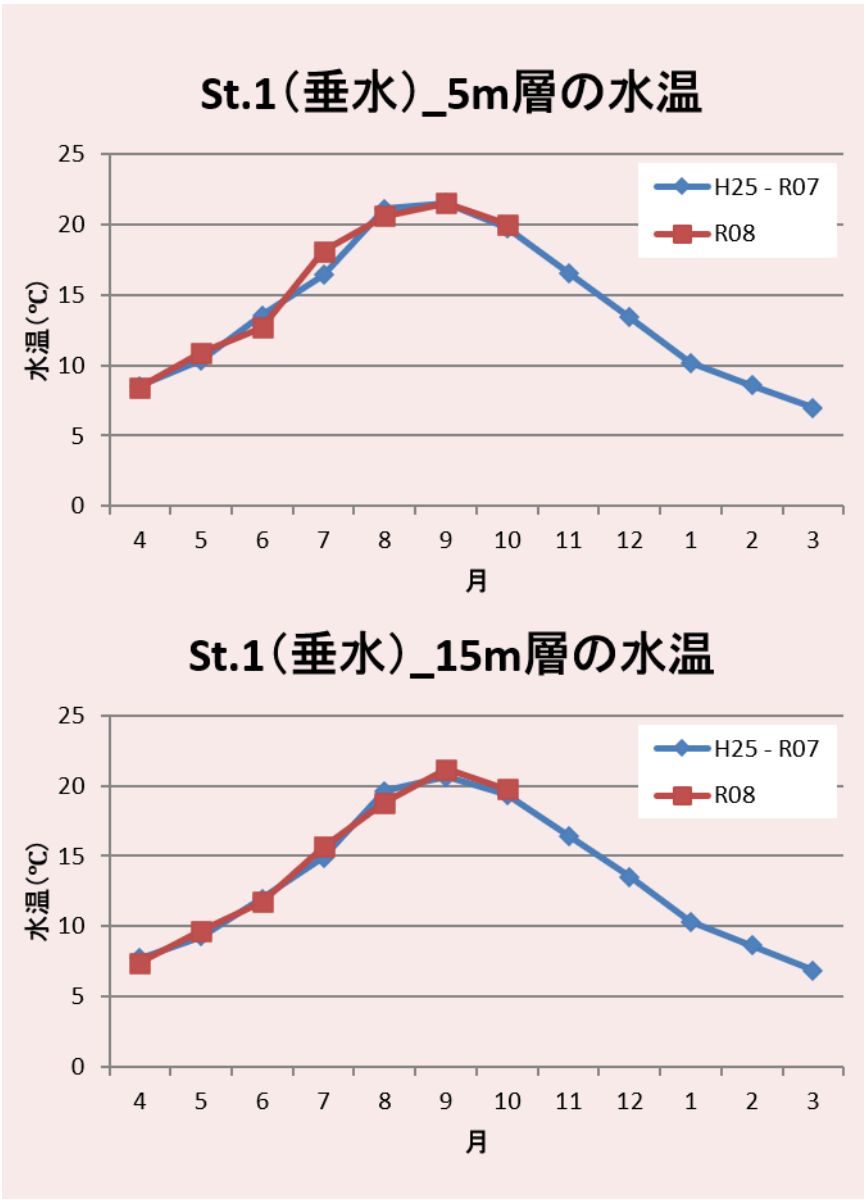


図2　水温、塩分、クロロフィル蛍光値及び溶存酸素の鉛直分布



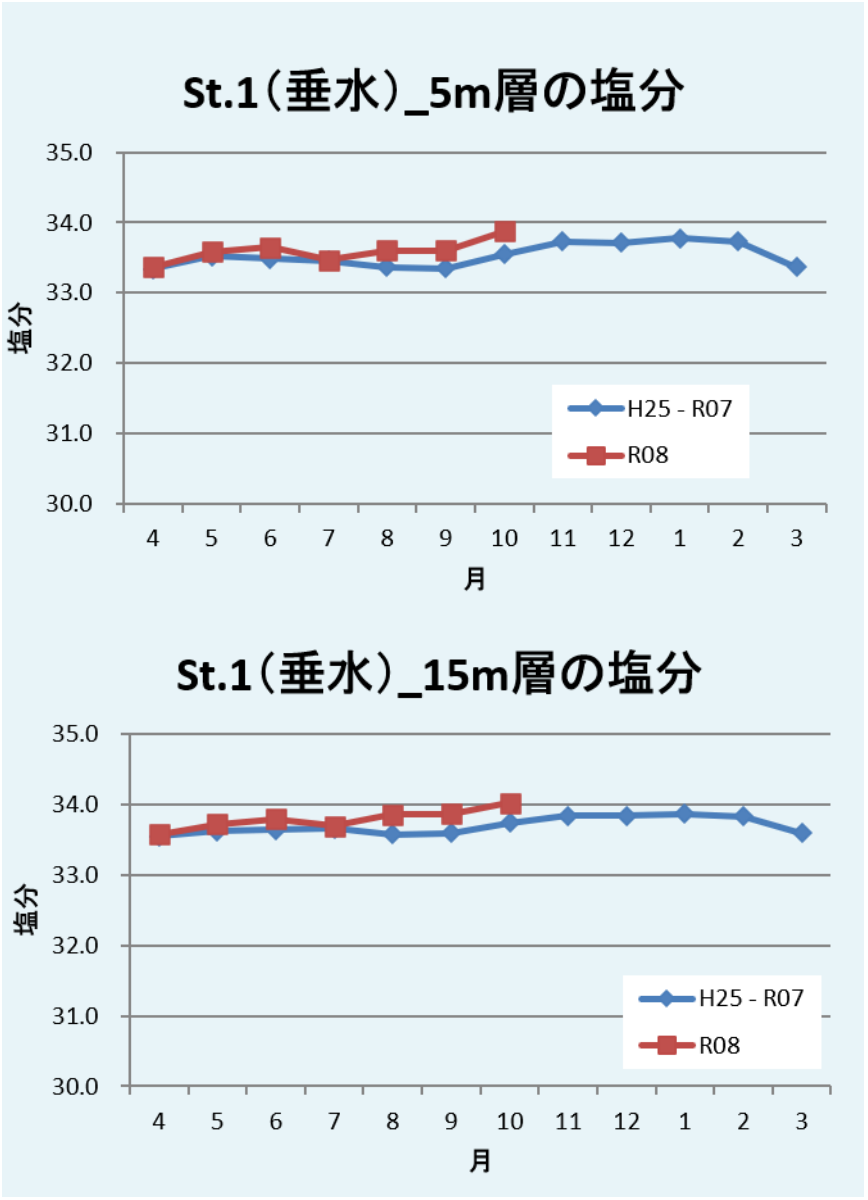
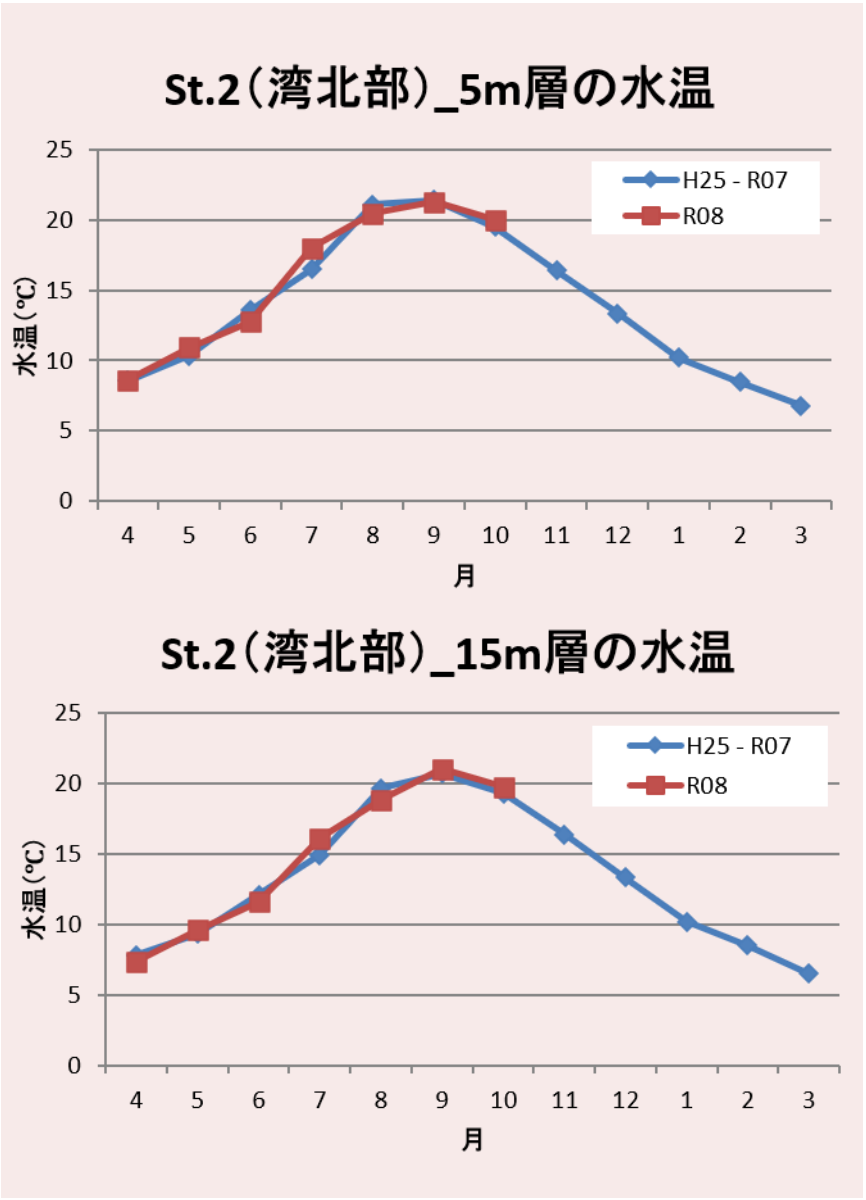


図3　St.1（垂水）の水温及び塩分の推移



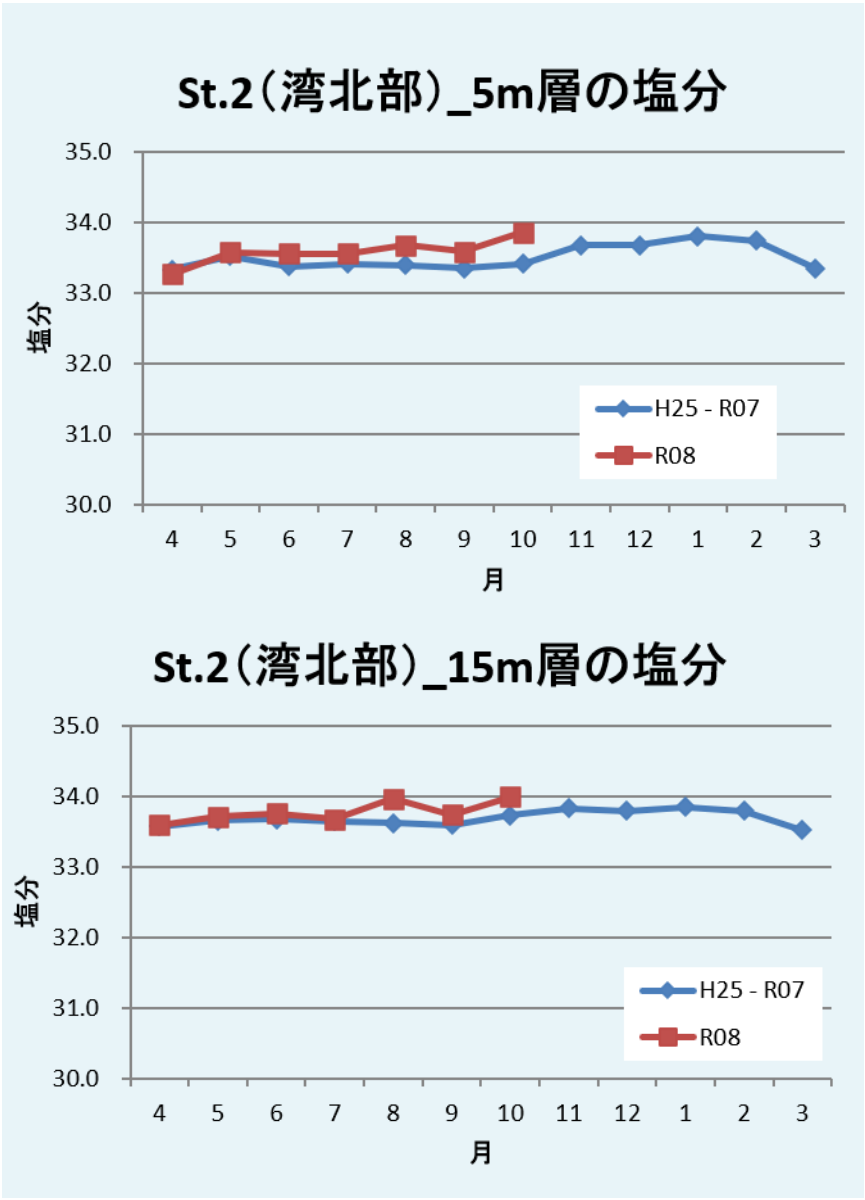
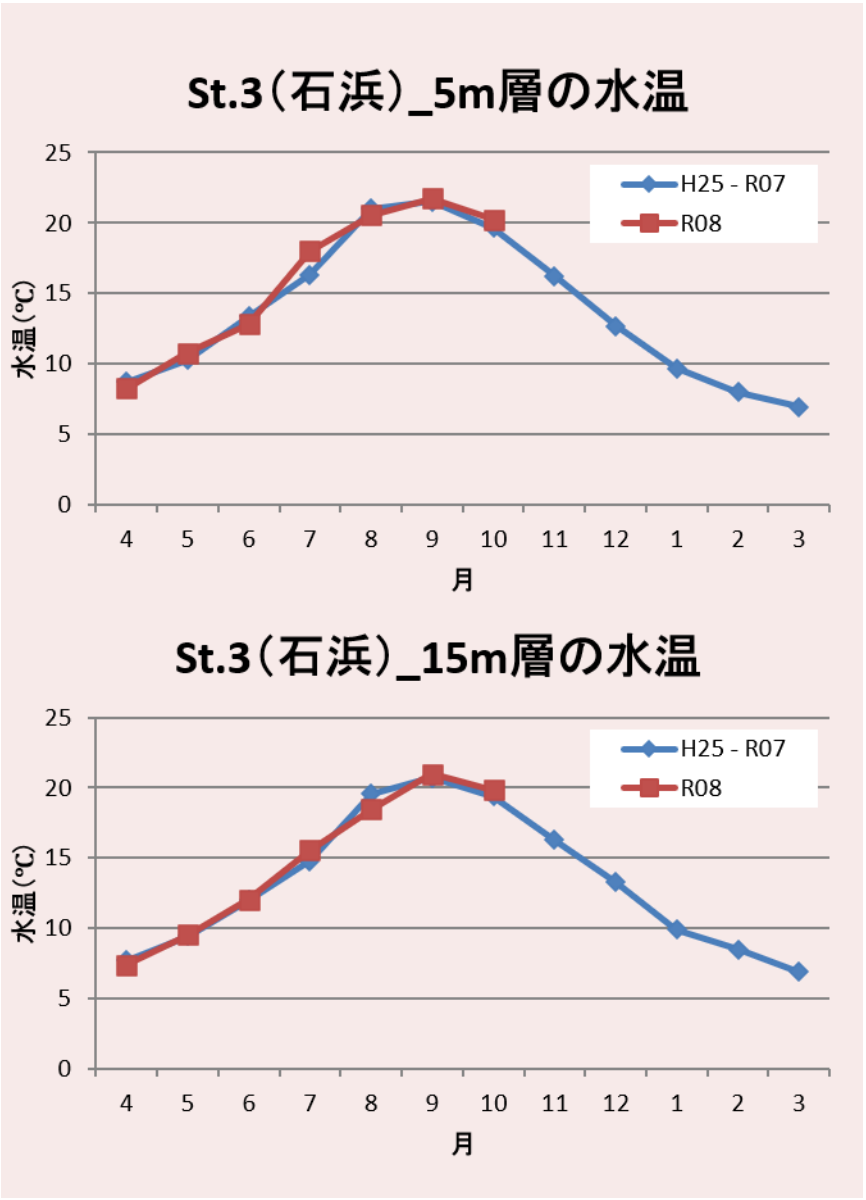


図４　St.２（湾北部）の水温及び塩分の推移



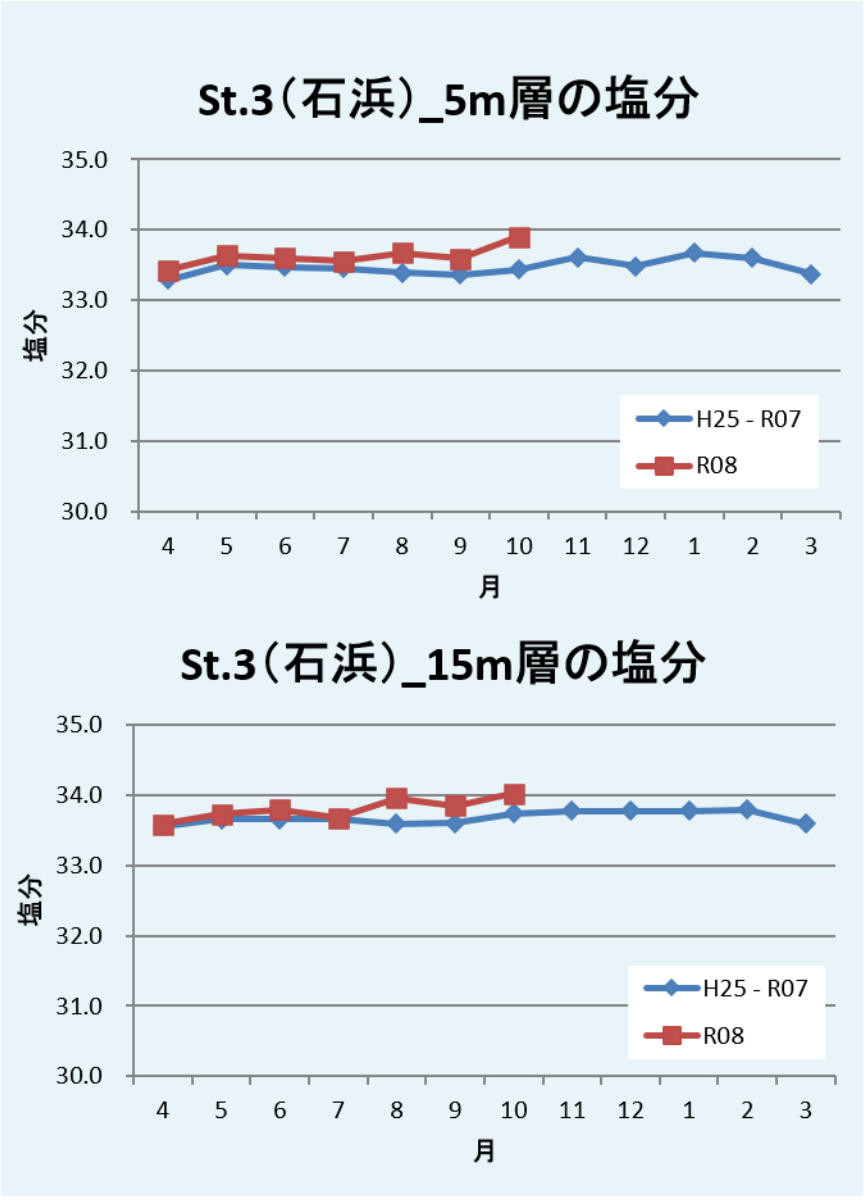
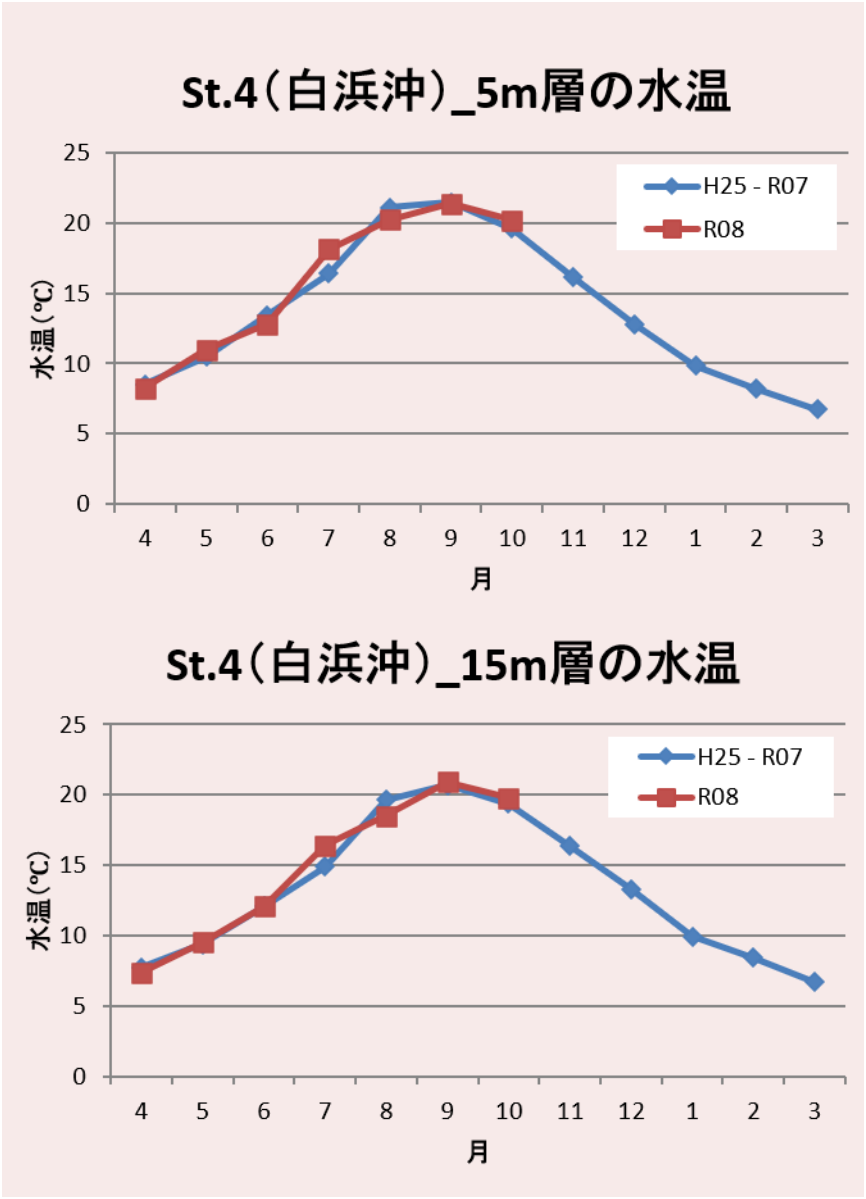


図5　St.3（石浜）の水温及び塩分の推移



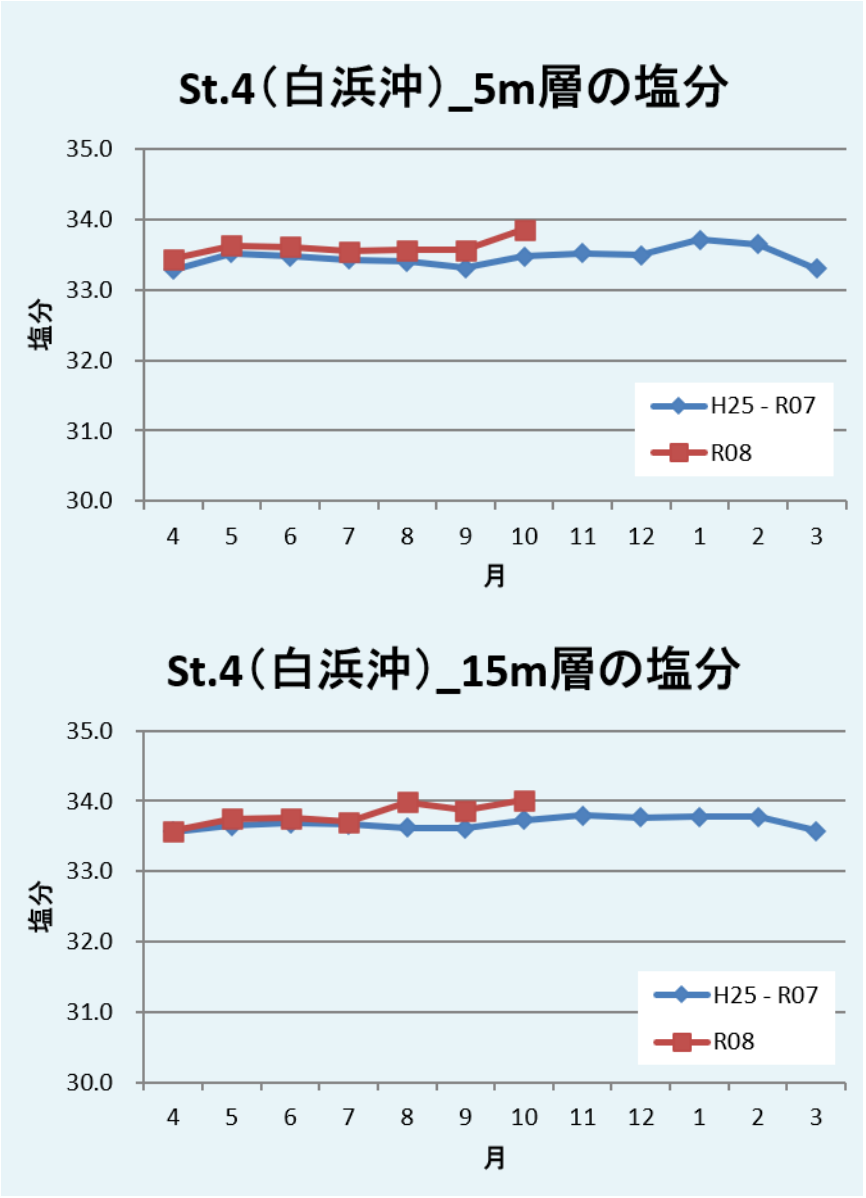


図6　St.4（白浜沖）の水温及び塩分の推移

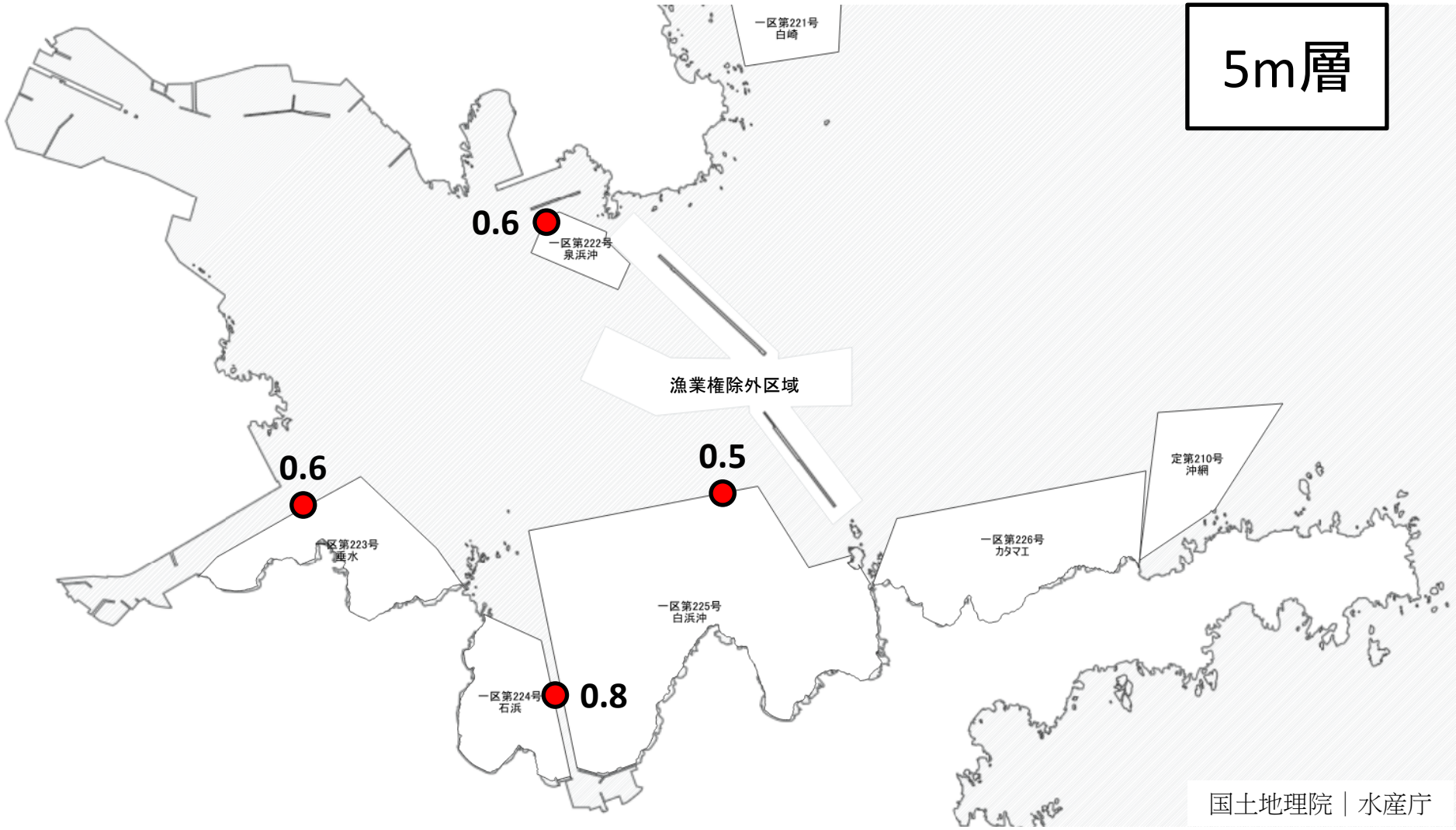


図7　5m層のクロロフィル蛍光値

※ 水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。湾内の相対的な比較としてご利用ください（月をまたいでの比較はできません）。

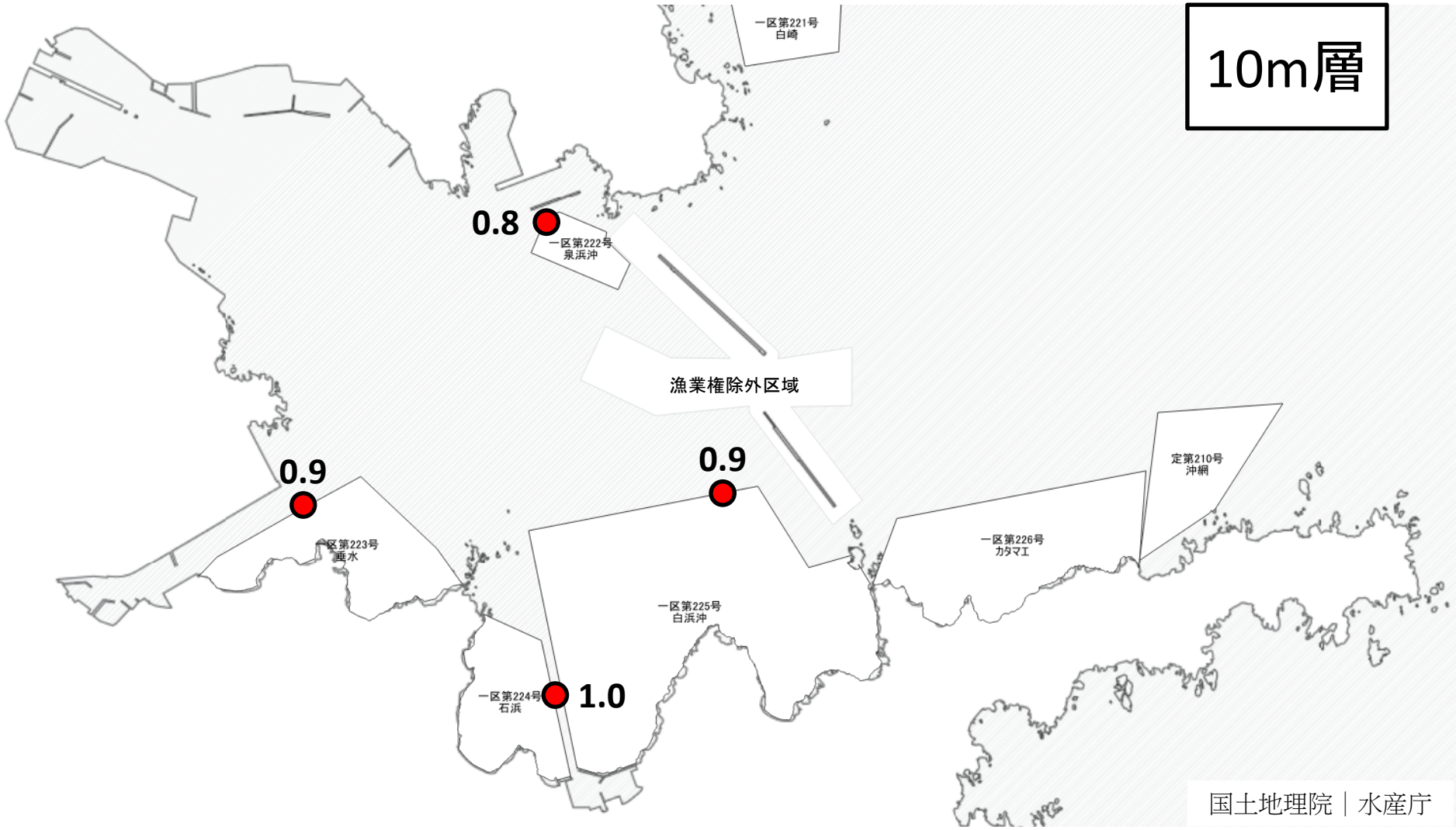


図8　10m層のクロロフィル蛍光値

※ 水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。湾内の相対的な比較としてご利用ください（月をまたいでの比較はできません）。

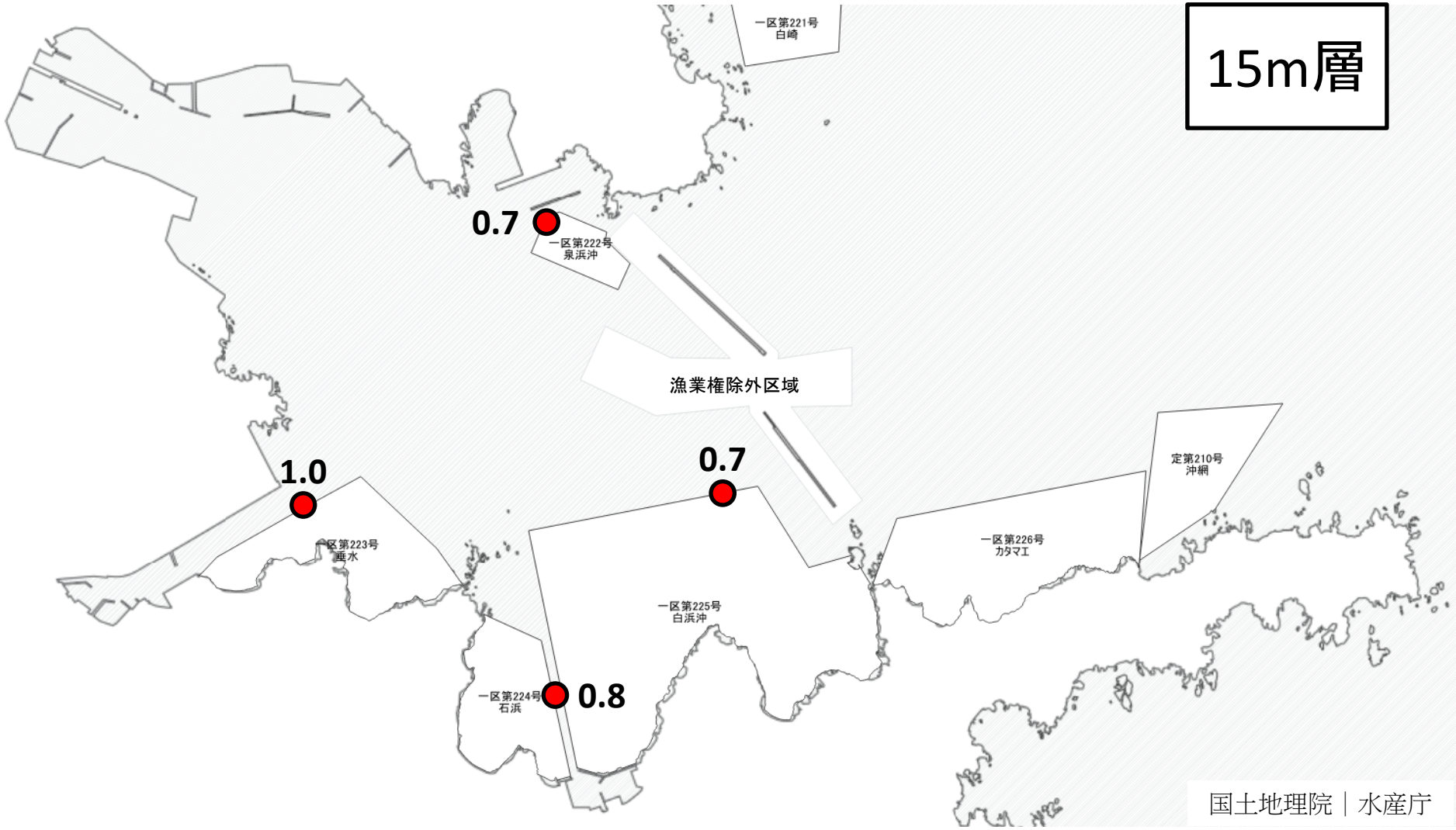


図9　15m層のクロロフィル蛍光値

※ 水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。湾内の相対的な比較としてご利用ください（月をまたいでの比較はできません）。